

第1回双葉地区地域審議会 会議録

■日時：平成22年12月7日（火） 午後7時～8時30分

■場所：双葉ふれあい文化館2階 会議室

■会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 企画部長あいさつ
- 4 協議事項
 - ① 塩崎駅周辺整備事業について
 - ② 韮崎消防署双葉分署設置に伴う検討結果について
- 5 その他
- 6 閉会

■出欠席者

- ・出席委員【8名／9名】
- ・欠席委員【1名】：長田委員
- ・事務局（出席職員）
 - 小田切企画部長
 - 市川企画課長、総合政策担当：石合リーダー、石原、伊藤
 - 今村都市計画課長、まちづくり推進担当：丸山リーダー
 - 花田防災安全課長
 - 岩下双葉支所長

議録

1、開 会

【企画課長】

皆さんこんばんは。ただいまより今年度第1回目の双葉地区地域審議会を開催いたします。会議の前にあいさつを交わしたいと思いますので、全員ご起立をお願いします。

「相互に礼（こんばんは）」

それでは、最初に渡邊会長あいさつをお願いします。

2、会長あいさつ

【会長】

皆さん改めましてこんばんは。昨年の11月26日に審議会を開催して1年を経過しました。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、寒暖の差もあり健康には留意していきたいなと思っております。私も自治会の役職は降ろさせていただきました。そんなことから若干いろいろな面に疎い部分も出てきているが皆様方のご協力をいただきながら審議会がスムーズに運営できますようによろしくご協力をお願いします。

昨年は、双葉庁舎の空きスペースをどう活用するかの問題、またオフトークの問題等についてご検討をいただきました。方向付けも段々と固まってきています。後ほど報告事項という形でオフトークの問題についてご報告を申し上げたいと思っております。

今日の議題につきましては、ご案内のとおり、塩崎駅周辺整備の問題、消防関係の問題について、事務局並びに担当部署から説明をいただき議事を進めていきたいと思っておりますので、最後までご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【企画課長】

ありがとうございました。続きまして事務局をしております企画部長小田切部長をお願いします。

3、企画部長あいさつ

【企画部長】

審議会の委員の皆様改めましてこんばんは。師走に入りまして大変お忙しいところ、また夜分にもかかわらずご出席賜りありがとうございます。また足もとの悪い中ご出席に感謝申し上げます。本来ですと市長が参りましてごあいさつを申し上げるところでございますけれども所用がございまして出席ができません。市長の方から皆様によろしくお伝えくださいとのことですのでよろしくお話ししたいと思います。

先ほど渡邊会長からお話がありましたけれども、双葉町時代からの長年の懸案事項でございました塩崎駅の周辺整備事業、いよいよ23年度から本格的に工事に入るという状況になりました。本日は担当であります都市計画課長、担当リーダーが出席しております。この後ご説明を申し上げますのでよろしくをお願いします。

それともう一点は、これも長年の懸案でございました、消防署の双葉分署の設置ということで、

これにつきましては、双葉町時代から葦崎の消防本部に双葉が近いということでなかなか実現ができなかったということでございますけれども、ここにきまして三市の市長で協議をした結果、来年の23年度中途になりますけれども用地を購入し、そこに消防車、救急車を配置をしていくという方向性が出てまいりました。説明につきましては、後ほど担当の防災課長より説明を申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

それからもう一点は、昨年11月の第2回双葉地区地域審議会でご協議いただきましたオフトークの関係につきましても、この後その他でご報告させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【企画課長】

ありがとうございました。それでは早速4番目の協議事項に入ります。先ほどありました二件の案件につきましてお願いしたいと思っております。それでは、進行につきましては渡邊会長お願いします。

4、協議事項

【会長】

それでは、協議事項に入らせていただきます。規約に従いまして私が議長を務めさせていただきますのでご協力をお願い申し上げます。

まず、事務局から説明を受け、問題、質問等があればご質疑をいただきながら進めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

①塩崎駅周辺整備事業について

【会長】

それでは、塩崎駅周辺整備事業につきまして、ご説明をお願いします。

【都市計画課長】

改めましてこんばんは。塩崎駅周辺整備事業の担当課でございます、都市計画長の今村と申します。よろしくお願いいたします。担当リーダーの丸山でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、塩崎駅周辺整備事業につきましてお手元の資料1ページから3ページでございます。まず始めに、塩崎駅周辺整備事業に関わります経緯につきましてご説明をさせていただきます。

塩崎駅周辺整備事業につきましては、旧双葉町時代の平成15年5月、塩崎駅周辺整備構想計画検討委員会、18人の委員をもって委員会を設立いたしまして、構想案の策定をいただいた中、平成16年3月に構想案の第1案を地域へお示しをいたしました。その段階におきまして、地域の方々のご意見をいただいた中で再度持ち帰り、平成16年9月に合併をいたしました。その後におきましても構想案の検討を行った中で、平成17年9月に第2案を作成し地域にご説明を申し上げます。それにつきまして、事業費の関係、計画の内容等につきまして、地域の皆様にご理解をいた

だけなかったという中で再度検討を行い、平成20年3月に第3案を作成し地域へ提示しました。この3案につきましても、地域の理解が得られなかったというのが経過でございます。その中で、竜王駅が完了する中で塩崎駅周辺整備につきましても、なんとか整備を図っていききたいと、合併の重点プロジェクトに位置付けられているという中で、平成22年2月に地域の方々と『市長との意見交換会』において、塩崎駅周辺整備事業について、5項目の検討課題があるのではないかといい中で、地域へご説明とご意見を聞きながら、JR八王子支社とも協議を行いながら、また地権者の方にもご理解をいただき、基本的な整備方針が策定され、平成22年11月22日に地域の説明会を開催し、お手持ちの3ページの計画素案を提示させていただき、地域のご理解をいただいた中で、この計画案で整備を進めていききたいとございます。

まず図面で説明をさせていただきます。

(現況図により説明)

・ 駅施設

ホーム幅員が現在2m。特急や貨物列車が通る場合大変危険な状況。

待合室がそれぞれ1カ所。

ホームに上屋がない。降雨時は傘を差さなければならない状況です。

バリアフリーの対応ではない。

・ 駅舎

現在南口にあり、夜間については無人。

トイレも離れた場所にあり、大変暗い所にあり防犯上よくない。

・ 南北駅前広場

現在南口に若干のロータリーがある。

普通車でも回転するには狭い。

塩崎駅は上り線、下り線それぞれに改札がある駅で、北口にロータリーがない。現在は市道上で送迎をしており危険な状況。

・ アンダーガード

現在幅員が4.4m、車道が3.4m、歩道が1m、有効高が3m。

・ 道路改良

県道から駅へ向かう道路に歩道等が設置されていない。

幅員は6mあるが、歩道が設置されておらず、大変危険な状況。

以上が塩崎駅の現状でございます。

(計画図により説明)

・ 駅施設の改修

現在のホーム幅員2mを、3両分を4mに拡幅。

拡幅部分に上屋を設置。

待合所は、上下線にそれぞれ1カ所新設。

バリアフリーについては、上下線それぞれスロープを設置してバリアフリーに対応。こちらにも上屋を設置。

- ・ 駅舎

JR と協議した中で現在駅舎が 1 つしかないので、1 つしか認められない。

現在それぞれに改札口があるので、南口は駅舎とトイレを併設する。北口は待合所とトイレを併設する。利用者から見ると南北に駅舎がある状況となる。

- ・ 南北駅前広場

南北に駅前広場を整備。

9m のマイクロバスが対応できるロータリーを整備。

歩道の濃い黄色部分については上屋を設置。

南北に駐輪場を整備。上屋を設置。

- ・ アンダーガード

現状を拡幅するという事で JR とも協議をしたが、拡幅する場合、道路構造令上現状地盤を下げなければならず、前後の土地利用が難しくなり、経費的にも、期間的にもかかるため、今回は、現在の歩道の安全確保を図るため、歩道部分を嵩上げし、上屋を設置。

幅員 3.5m で交互走行ができないので、現在より見通しを良くするため直線に近い形で待機できるように整備。

- ・ 道路改良

県道については、市道の道路拡幅に併せ道路拡幅を検討している。

市道は、幅員 12m、右折レーン、左折レーンを設置。2.5m の歩道を設置。

- ・ その他

小学生の通学路となっているので、歩道橋を設置。今後、教育委員会と協議。

北口に短時間駐車場を設置。

以上が大まかな今回の素案の内容でございます。この案につきましては、地域説明会にも理解をいただいたなかで整備を進めていく形となります。今後は詳細設計に入っていきますが、若干ずれはでてくる可能性がありますけれども、基本的にはこの案で整備をしていきたいということで現在考えているところでございます。

今後の事業計画案ということで、資料 2 ページの 3 になりますが、東日本旅客鉄道との協議は概ね完了した中で計画案が出ました。地域の説明会も 11 月 22 日に開催してご理解をいただいたという状況でございます。今後この計画の具体的な策定に入っていきます。それに伴いまして詳細設計、不動産鑑定業務等を今年度行いまして、平成 23 年度から詳細の地域の説明会を開きながら用地取得、駅施設につきましては JR に委託工事することになりますので、JR と協定等を結びながら駅施設につきましては工事をしていきたい。それから、駅前広場、道路整備等についても順次工事を進めていきたいと考えております。基本的には、塩崎駅周辺整備事業につきましては、平成 25 年度を完了目標として今後事業を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

【会長】

ありがとうございました。今、担当課長から内容について説明がありました。地域の皆様方には基本的には了解をいただいているという形の中でこれからいろいろな事務関係が出てくるわけです。これらを踏まえて事業計画案を目標にこれから事業を展開してまいるということでございます。皆様方からご意見、ご質問、ご要望等ありましたらお願いします。

【委員】

塩崎駅周辺整備事業に伴う北側の道路の拡幅については、この中に入っていませんか。小学校、中学校の子どもの通学路となっていますが。

【都市計画課長】

北側の道路については、地域の方々からも要望等が出ております。今回は塩崎駅周辺整備事業としては、図面のとおり開発エリアとなりますが、こちらの拡幅は要望をいただいておりますので、調整をしながら整備を進めていきます。今回広場部分の用地買収をいたしますので、エリア内の歩道の整備は行います。

【委員】

前に地域で歩道を付けてもらいたい要望をして、色を塗った歩道を付けてあるんですけども、道路との差がないために、自動車が歩行者の方に出てくるということですから、歩道と車道を区別してやっていただきたい。特に小学生、中学生が西の方から来るわけですから、朝来てくれれば分かりますが、大変危険な状態があります。特に雨が降った時は混雑しますので、その点も含めて計画をお願いしたいと思います。

【都市計画課長】

今ここで整備するとは言えませんが、この開発に伴ってそういうことも含めて検討させていただきたいと思います。

【委員】

ホームは、3両分だけが4m拡幅なのか。車両は3両編成で全部停まるわけではない。長いのが来た場合は従前のホームのままということですか。

【都市計画課長】

ここは、3両と6両が停まります。基本的に6両分となりますと支障等がございますので、当面3両の拡幅をさせていただいて、3両に対応した中で今回整備をしていきたいと考えております。

【委員】

当面で3両ということで行けば、次は全部やるということになるのか。当面3両ということではなくて6両分は拡幅していただいた方が利便性があると思うし、その方が良いと思う。通勤時には6両編成であり、4両目以降は屋根がないということはどうかと思う。

【委員】

関連で、3両の停車位置、どこだか分かりますか。計画図の屋根の下には停まらない。それはどうなるのか。

【都市計画課長】

3両が来た場合停車位置がずれてしまう。その点につきましては、JRとも協議しておりまして、停車位置の移動をお願いしたいと考えております。6両はどうだと話がありましたが、JRとも協議をしており、JR側といたしましては、乗降客の関係もございまして、規定から言いますと実際4mも広げられない状況のようでございます。

【委員】

それであれば、上屋を4m設置するのではなく、その分狭めて上屋を延長したらどうか。

【事務局】

今回我々が着眼したのが、ホームの2mと、この駅が3両、6両の電車が停まりますが、まず一つ目が悪天候時の傘をさしてホームに立った時に、特急が通る際引き込まれる恐れがあり、擦れ違いができないことから安全性を確保したいというのが一つ目です。駅舎からの侵入と体の不自由な方が緩やかなスロープを使ってホームに入るという。雨の時は近場に人が溜まりますので、そのことをJRで検討して、一つは川の位置ですね、川の配置を考えながら緩やかな坂道、駅舎から出た3両分の位置を4mに拡幅することによって、人溜まりと安全性の確保をしようとする部分です。小田切委員さんからもありました車両の停車位置も確認しております。JRに川の位置、既存のホームの位置を検討しながら、今度は電車の停める位置を工夫しながら利便性の向上を図ろうという形でJRと協議をこぎつけていますので、今のご意見もJRに伝えていきたいと思いません。

【委員】

スロープの総延長は何mになりますか。障害を持っている人は長いと歩くのが大変。本来であればエレベーターを付けていただければ障害者のためにはよい。

【事務局】

このスロープには屋根は付ける予定です。エレベーターの検討も行いましたが、地上高が2.5mくらいあり、弧線橋を作った方が良いのか、地下道を作った方が良いのか、エレベーターの設

置をした方がよいのかという中と、乗降客数、費用に対する便益的なものを考慮した場合、一番安価で利便性がよく、一体的に活用できるという判断で提案が出たのが、このスロープの状態です。エレベーターは固定の方とか人数が決まってしまうますが、階段で昇り降りができなくても、スロープでは緩やかに歩ける中で、一定基準の勾配を確保すると10mとか20mくらいのスロープになってしまいます。あくまでもこれは仮の絵なので実際的にこれが何mになるかとかは、今後の設計とかホームの高さ調整が出てきますので、改めて引き続き地域の方にはこの内容については説明していきたいと考えております。

【委員】

いずれにしても、長く歩くのは大変なことなので、その辺も念頭において一番良い方法を取らないと、せっかく作っても利用者がなかったのでは意味がない。スロープは割合利用者が少ない。その辺を頭の片隅において検討をしていただければありがたいと思います。

【会長】

上り下りのホームへの移動は、従前通りアンダーガードを通るということでよろしいか。

【事務局】

歩道部分に上屋を設置しますので雨に濡れずに、アンダーガードの下の歩道を通行しながら移動していただくようになります。先ほどのスロープですけれども、我々も一番直近であると酒折駅がスロープで今現在完成をされています。その部分で良いところ、悪いところを全部確認しておりますまして、地域的なことも確認しておりますので、ここについてはそういう問題点を関与しながら設計に取り組んでいきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【委員】

ガード下については水が溜まってしまうが、汲み取りポンプは改修してもらえるのか。

【事務局】

現在の耐用年数とか先日確認を行いまして、取り換えるものについては改修していくという形で、周辺の道路の改修もありますので、それによっても水量が変わると思いますから大丈夫だと思います。

【委員】

アンダーガードの車両の問題ですけれども、今と同じという説明ですけれども、一番大事なところはそのままほったらかせる感じがします。交互通行という形でもっていきませんか。

【事務局】

アンダーガードについて、JRと協議を行っております。今現在のアンダーガードは桁式で、橋

げたの上に JR の線路が乗っている状況でありまして、今現在の JR の安全性の確保を行う場合については、箱式、コンクリートの箱の構造を設置して、その上に線路を乗せるような施工だそうです。JR からの南北の市道の距離が短く、ボックス式にしますと道路構造令上、今以上の道路の高さが 1.5m 深くなってしまいうことで、道路勾配が厳しい状態という部分が一番問題になっております。先日、地域の説明会でも出たんですけども、地域の方にすればすれ違いより、交通量の増加というのも懸案であるという中で、我々としては周辺の道路網ですね、今ラザウォークがオープンしているんですけど、この一つ西側の山本踏切の交差点部分を交差点形状についてもこの開発の計画と併せて検討していく形で現地調査に入っております。また、先日の 12 月 3 日に市役所内部においても担当課となる建設課、水利関係となる農林などの関係部署に今ある課題、現状をすべて出してもらい、この地区の課題というのが、先ほどの問題もあるんですけども今後この事業と併せて検討してまいりたいと思います。また検討内容については、地域審議会に説明してまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

【委員】

現状の車を考えた場合、交互に交通するなんて言っている人がどこにいる。せめてフリーに上り下りができなければおかしい。技術的にできないということは承知できない。

【事務局】

技術的というよりも、現在混雑するのは朝夕のラッシュ時であり、日中は交互で渋滞が起きる道路ではありません。現地を確認しております。朝夕の渋滞、甲府方面に行くために、駅前のロータリー、また市道に停車することにより渋滞が発生しており、それと通学生と車と自転車、歩行者による渋滞が確認されております。その解消として、甲府方面に行くホーム側、北側にロータリーを設置することによって、ここの通過交通を減らす計画です。また併せて南側もロータリーを大きくすることによって送迎場を配置して歩道の整備を行ってここの交通量を減らすよう設計に取り組んでおります。

【委員】

交通量を減らすということではなく、1 本線でなければ困ると思う。上り下りの車道を 1 本ずつ作ってもらいたいということである。交互交通ではなく時代に合わせろということである。

【事務局】

JR と概算で約 15 億、工期として 5 年から 6 年かかると言われております。

【委員】

10 年でもかかっていいと思う。

【事務局】

ここのコストに対する効果と交通量を考えたときに、ここに投資する方がいいのか、それともこちらの交差点とか塩崎駅を中心とした道路網ということで県道の拡幅とか併せて利便性の向上と安全性の確保を図ります。

【委員】

今塩崎駅で2本通して、待つなくてもスムーズに通れるようにしてくださいということである。考えて下さいということである。

【事務局】

一番のネックは、既存の道路の高さより約1m以上下がってしまうということです。JRでは現在、桁方式で施工はしていませんので、整備をするのであればボックス方式となります。ボックスにしますと高さを確保するために、1mほど道路が下がるので前後の高さ、交差点を考えると今以上の勾配になりますので車は通行的には危険であるということです。

【委員】

遅くなって申し訳ございません。山田さん、ここの塩崎は双葉の時からネックであった。周りの地権者にかなり謝りに行ったけれど土地の融通が利かない。こうやって図面にする時は決定である。みなさん承知してくださいということである。広げる場合は、県道から下げていかなければならない。北側に行けば急に上がってしまうので、使い易くしてもらおうということ、JRとも協議しているので、この案が最高の譲歩であると思う。

【委員】

せっかく整備するのだからもったいないが承知する。

【委員】

分からないわけでもないけれど、これはできると思う。向こうの通学路から下げれば通れる。現状のままで行うということで、考えを変えてもらえば出来ないことないと思う。

【事務局】

今回ボックス化、我々もコストも考えるのですけれども、なるべく課題であった擦れ違いができなかつたことを何とかしようと考え、既存の水路の高さやしょう版の位置、この先の道路の高さ、いろいろ検討いたしまして、委員さんのおっしゃるとおり、ここアンダーガード下を下げた場合、北側の坂道に擦り合わせができなくなり、車のお腹がついてしまう状態になります。南側では、道路構造令上交差点付近まで削らなければなりません。このガード下は、JRの旅客事業の安全性の確保と高さから言いますと、ここの間だけでは厳しい。やるとすれば、県道側までを勾配道路を削らなければ難しいという状況です。先日の地域説明会でも、逆のご意見が出まして、

国道 20 号から市道に入って山本地区に行く山本踏切の方が本来の道筋であり、ここを通行止めにしたらいかがですかという意見も出ています。山田委員さんのように広げろという意見も出ました。地元以外の方も来ていて、地域の安全性の確保のために通行止めにしたらどうかという意見もありました。現在 JR と協議の中で、できる安全性の確保と利便性の向上を図るためには、道路の前後の改良とアンダーガード下の屋根の設置、南北駅前広場の整備、周辺の整備ということで、この形でご理解をいただきたいと思います。

【会長】

いろいろ意見が出ました。あるいは要望というものが出ているわけですが、今出ている線を基本にいたしまして説明会を進めてきておりますので、大まかに変更する訳にはいかない部分も当然あるわけですから、出た意見等を参考にしながら今後の方向付けをしていっていただければと思います。この駅周辺整備につきましてよろしいでしょうか。

【委員】

予算的なものをお聞きしたいのですが、JR が負担するのかしないのか。地元が全部負担するのかお聞きしたい。

【都市計画課長】

まだ概略しか出ておりませんので、詳細の設計も出ておりませんので、一応 20 億以内を想定しております。JR の負担金につきましては、当然駅舎ですとか JR 部分についての負担金等につきましても、今後詳細設計が出た段階で負担区分等につきましても協定の締結をしながら今回事業を進めていきたいと考えておりますので、今現在 JR でいくらという話は、今後詳細が決まった段階でその辺の協議をしていきたいと考えております。

【委員】

先日議会だよりを見たんですけれども、竜王駅が約 100 億かかっているということで、100 億をかければあれだけ立派なものができるのか思いました。

【委員】

せめてここに 50 億をかけてくれれば立派なものができる。

【企画部長】

竜王駅は駅舎自体は、南北自由通路を公共で入れていますけれども、駅舎自体の費用は 26 億です。周りの周辺整備にお金がかかりかかっているという状況です。

【委員】

竜王の北口と南口をエレベーターがあるけれども、昇ったり降ったり、竜王駅の方がえらい。

エレベーターで昇るけれど、降りには階段で疲れる。塩崎駅の方がよっぽど楽である。

【会長】

それでは、この問題、いろいろな意見等も参考にしながら進めていってほしいなと思います。よろしく願いいたします。以上でこの事業につきましては締めたいと思います。

それでは、次の2項目目に入らせていただきます。韮崎消防署双葉分署の設置に関する問題でございます。担当部署の方で説明をしていただきますのでよろしく願いいたします。

②韮崎消防署双葉分署設置に伴う検討結果について

【防災安全課長】

(資料により概要説明)

補足説明：広域整備 → 建築費：概ね9千万円・車両費：概ね6千万円 計 1億5千万円
市負担 → 用地取得費のみ (12月補正予算で対応)
なお、広域の理事会で設置の承認されております。
今後はスケジュールにより事業が進むものと思っております。

【会長】

それでは質問等お願いします。

【委員】

甲斐市全体の消防署の現状はどうなっているか。

【防災安全課長】

双葉地区は峡北広域行政事務組合の峡北消防本部(韮崎消防署)の管轄、竜王地区は甲府地区消防本部の西消防署、敷島地区は西消防署の敷島出張所がございます。旧3町のなかで双葉地区には常備消防施設がございません。

【委員】

消防行政の県下一元化はどうなっているか。

【防災安全課長】

山梨県消防広域化推進協議会が立ち上げられており、県下27市町村、10消防本部による。協議会の委員は市町村長、消防長で構成。幹事会は各市町村の担当課長で構成されている。各市町村の事情はあるが、目標は平成24年度末までに広域化をしたい考えで協議を進めている。しかし、10消防本部の経営状態や職員給料をとっては是正が必要であり、まだ、協議中であり決定はされていません。現在は、前段階ということでご理解願いたい。

【委員】

峡北消防本部のなかで（仮称）双葉分署と他の分署との差はありますか。（人員等）

【防災安全課長】

（資料（P 7. 8）により説明）

- ・ 峡北消防管内分署等の現状等を説明

【会長】

具体的にはこれから、詰めなければいけないこともあります、大まかには分署化について進められているということでもありますのでよろしくお願いします。

他にありますか。

（なし）

なければ、以上で本日の議題は終了します。

なお、その他で双葉支所から双葉地区オフトークの問題について報告をお願いします。

○オフトーク通信について

【双葉支所長】

アンケートの結果について報告します。今年の7～8月に実施。対象672世帯、回答数473世帯、回答率70.4%。約9割の世帯が利用しないとの回答を得た。この結果を踏まえて市では24年度から廃止で検討することにしました。同時期に各自治会長に地区公民館へ放送設備を設置するかアンケートをとった結果、5地区から要望がありました。この5地区については、補助金の特例（補助率1/3～1/2）を設けて23年度から5年間、地区へ配分していく。今後については23年11月まで現在の状態で行き、防災行政無線の整備に併せて11月過ぎから撤去に入ります。（各地区の公民館への自治会内放送設備）

【委員】

各地区で加入者も少なく自治会内の連絡もできていない。

【会長】

現在は加入者世帯が少なく連絡ができていない状況であります。今後は敷島・竜王地区にあるような自治会単位で放送ができる施設が整備されるということでもあります。屋外放送ですと混線する場合がありますので、聞きにくい部分がありますので、研究しながら進めていただきたい。

【委員】

24年度に廃止の方向なのか、廃止なのか、どちらか。

【支所長】

24年度廃止です。

【委員】

防災無線の変更はいつからか。(デジタル化への)

【防災安全課長】

双葉地区については来年度からデジタル化の整備を進めて行きます。予定では来年度の11月までに工事を完成したい計画で進めています。

【委員】

米沢地区は防災無線が聞こえなくなってひさしいが、そのままか。

【防災安全課長】

整備をしてから36年を経過しています。整備したくても部品の調達ができなくて整備できない状況であります。米沢地区以外でも駒沢、滝坂、仲宿地区でも支障をきたしております。それらについては、近くの防災行政無線のスピーカーから有線で東電に使用料を支払うかたちで線を引っ張ってきて放送しています。ただ、米沢地区については、それが出来ない状態であり大変ご不便をかけていますが、あとしばらくお待ちいただいてデジタル化が整備されれば解消されます。

【委員】

話は分かるがデジタル化まで待っているということか。十分承知しながら、しらばっくっていたのか。

【防災安全課長】

そんなことはございません。私も双葉出身の職員ですから一番気になっている部分であります。

【委員】

来年11月まで我慢しろということか。それでいいのか。

どこか他の場所から、線を引っ張ってきたらいいのではないか。

給料をもらっている以上それなりの仕事をしてもらわないと困る。民間会社では考えられない。知らなかったことならば分かるが、承知していたならば許せないことである。

【委員】

山田委員さんの言うことも分かります。区長が2代変わっていてその前からの問題である、その辺は市でも怠慢のところはあると思う。

【防災安全課長】

何とか対応できるか、業者と早急に話を詰めて行きたいと思いますのでご理解願いたい。

【会長】

ひとつ前向きな検討をよろしくお願ひしたい。オフトーク絡みの問題については、以上で閉めたいと思います。

その他、何かございますか。

○市外局番について

【委員】

甲斐市になって双葉の市外局番がいまだに 0551 だが、甲府並みの 055 になりたいと思うのだが、合併当時は金銭的な問題があるということだったが、6年経過して現在はどうなっているのか。

【防災安全課長】

合併協議会に席をおいていましたので、細かい部分は直接の担当ではなかったのですが説明いたします。まず、NTTに協議を申し入れたときに、双葉の回線電話を使用している世帯、契約者が一人残らずすべての加入者が同意をしてくれなければ駄目であること。峡北と双葉地区の 0551 と甲府地区の 055 の回線の受益面積が違うということで、月々の使用料の基本料金が上がります。現在は敷島・竜王の市民より双葉地区の市民は基本料金が安い設定です。上がることを契約者がすべて一人欠けることなく同意してくれなければできない。その話をNTTからされたとき、同意をすべての加入者から取るのは現実的には無理なことですから諦めた経緯があります。(基本料金は竜王・敷島並みになる)

【委員】

まだ継続しているのか。

【防災安全課長】

続いています。

【委員】

市役所にかけるのに市外局番を押さないとかけられないのは不便である。

基本料金の増額分は市が負担したらどうか。同じ市民（竜王・敷島同様に）であるから。

【企画部長】

なかなか難しい話である。受益者にかかわる問題ですから。公共料金とすると、敷島の水道料金の問題もあり、現在は、竜王・双葉の2倍近い料金を支払っている。議会でも話がありましたけれども、直接市民のために負担していくことは難しい。

確かに、利便性からすると市外局番を押すことは大変だが、将来的に解決しなければならない問題ということでご理解願いたい。

【委員】

市外局番を押さないと、同じ市内に繋がらないのは寂しいものです。

【会長】

そのほか、地域として解決したい問題等がありますか。

特にございませんか。

(なし)

それでは、私の役目を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【企画課長】

活発な審議ありがとうございました。特に塩崎駅については身近に関係する施設だということ
でいろいろなご意見ありがとうございました。

それでは井山副会長より閉会のことばをお願いします。

【副会長】

長時間に渡りましてご苦勞様でした。10年ぐらい前から塩崎駅このについては感じておりました。やっと、花が咲いてくるんじゃないかと期待を大きく持っております。やはり、地域の方々の話し合いが非常に大事だと思っております。特に山本・新町地区の方々にはいろんな面で協力を得ながら進めてくれていることと信じています。これからも大変ですが地域の皆様を大切にしながら話し合って進めてもらいたいと思います。本日はご苦勞様でした。

【企画課長】

それでは、あいさつを交わして終了したいと思います。

「相互に礼（ありがとうございました）」

■終了

午後8時30分